

(2) 年 教科【 社会 】

| | | | | | |
|---------------|---|---|------------------------------|---------------|---------------|
| 使用教科書 | 新しい社会・歴史 新しい社会・地理 | | | | |
| 学習の目標 ・ねらい | ・「自然環境」「人口」「資源エネルギー」「地域間の結びつき」の4つの観点を通して日本の国土の特色を理解し、様々な視点から考える方法を身に着ける ・日本の諸地域の特色を学び、その知識をもとに日本全体の特色に気づくとともに、地理的な見方や考え方を身につける ・各資料を通して近世武家社会の諸政策を学習し、社会の変化や諸産業文化の発達について理解する ・日本の近代化について、各資料を通して学習し、現代日本に成長する過程を理解するとともに、各事象の因果関係を理解し、説明できるようになる | | | | |
| 年間の 授業内容 | 前 期 | 4 月 | 日本の地域的特色と地域区分（3 時間） | | |
| | | | 人口から見た日本の特色～日本を地域区分しよう（6 時間） | | |
| | | 5 月 | 九州地方（5 時間） | | |
| | | | ユーラシアの動きと武士の政治展開（7 時間） | 前期中間テストの範囲の予定 | |
| | | 6 月 | ヨーロッパ人の出会いと全国統一（8 時間） | | |
| | | | 江戸幕府の成立と対外政策（5 時間） | | |
| | | 7 月 | 産業の発達と幕府政治の動き（8 時間） | | 前期期末テストの範囲の予定 |
| | | 9 月 | 中国・四国地方（5 時間） | | |
| | | | 近畿地方（5 時間） | | |
| | 後 期 | 1 0 月 | 中部地方（5 時間） | | |
| | | | 関東地方（5 時間） | | |
| | | 1 1 月 | 東北地方（5 時間） | | |
| | | | 北海道地方（5 時間） | 後期中間テストの範囲の予定 | |
| | | 1 2 月 | 欧米における近代化の進展（5 時間） | | |
| | | 1 月 | 欧米の進出と日本の開国（4 時間） | | |
| | | | 明治維新（5 時間） | | |
| | | 2 月 | 自由民権運動（4 時間） | | |
| | | | 日清戦争（2 時間） | 後期期末テストの範囲の予定 | |
| 3 月 | | 日露戦争と日本社会（5 時間） | | | |
| | | 近代のまとめ（1 時間） | | | |
| 特色ある 学習など | | ・学習した知識をもとに、学習内容に自力もしくは協働で取り組む、問題解決学習を行う。 ・自分の考えをまとめ、意見交換を行う授業を單元ごとに行う。 ・小テストを行い知識の定着を確認する。 | | | |
| 評価の観点 | ・地名や地形、人物や出来事などの基礎知識を身につけることができる【知識・技能】 ・地図や統計、資料を正しく読み、それを基に学習課題の解決を行うことができる【知識・技能】 ・学習内容をもとに自分の考えを文章にまとめる、教えあうことができる【思考・判断・表現】 ・社会に興味を持ち予習課題や、課題解決学習に意欲的に取り組むことができる【主体的に学習に取り組む態度】 | | | | |
| 評価の方法 | ・学習への参加状況、ノート作成による取り組み状況、単元まとめ活動、小テスト、基礎学テスト、定期テストによって総合的に評価する。 | | | | |
| 注意事項 | ・ワークシートや配布資料が多いので、ノートに貼って管理をていねいに行う。 ・B5のプリントが貼れるA4のノートを使用する。 ・テスト前の課題や単元のまとめの活動などの課題を提出期限までに取り組む。 | | | | |